

今月のみらい通信では、新入生募集のお知らせ、運動会の特集記事のほか、年次総会や講演会のご報告、後期管理運営委員会メンバーの紹介や新委員の挨拶などを掲載しています。ぜひご一読ください。

<目次> 新入生募集・意見募集・年次総会・講演会・運動会・後期運営委員会・新委員紹介・委員長からの報告



(教育部)

2026 年度の新入生募集について、近日一斉メールや本校ウェブサイトでお知らせいたします。お子様の入学をご検討されているお知り合いがいらっしゃいましたら、「学校見学ツアー」をぜひご案内ください。子供たちの学ぶ様子のほか、図書当番や安全当番などで学校を支える保護者の皆様の姿もご覧いただくことができ、本校の特色を感じていただける機会となっています。今後は、11 月 22 日（土）と 12 月 20 日（土）に実施を予定しております。

2026 年度入学可能年齢	
年中組	2021 年（令和 3 年）4 月 2 日 ～ 2022 年（令和 4 年）4 月 1 日 生まれのお子様
年長組	2020 年（令和 2 年）4 月 2 日 ～ 2021 年（令和 3 年）4 月 1 日 生まれのお子様
小学 1 年生	2019 年（平成 31 年/令和元年）4 月 2 日 ～ 2020 年（令和 2 年）4 月 1 日 生まれのお子様

なお、見学ツアーは入学の必須条件ではありません。全学部・全学年を対象としており、お子様の転入学をご検討中のご家庭にもご参加いただけます。詳細やお申し込み方法は[本校ウェブサイト](#)をご覧ください。ご不明な点がございましたら、[教育人事部](#)までお気軽にお問合せください。

【お知らせ】広報・パートナーシップ部へのご意見募集中

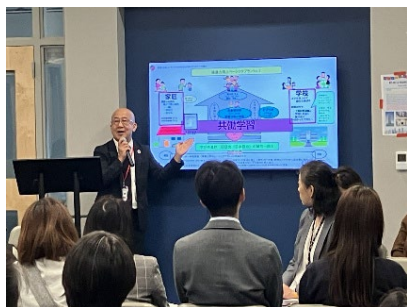


広報・パートナーシップ部では、「みらい通信」や「Instagram・Facebookなどの公式SNS」、「本校ウェブサイト」への感想やご質問などを随時募集しています。お寄せいただいたご意見は今後の活動の参考とさせていただきます。ご意見は[こちら](#)まで。

ぜひ、皆様の貴重なご意見をお聞かせください。

Web ご意見箱

【報告】2025 年度年次総会のご報告



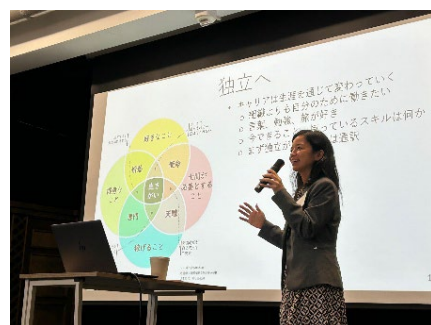
2025 年度の年次総会が 10 月 18 日に開催されました。出席して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。総会では、東間校長から本校の教育方針について詳しくご説明いただき、小委員会および各部からは、魅力ある学校づくりへの取り組みの報告がありました。また、質疑応答時には図書館の蔵書寄付や保護者の休憩場所についてなどのご質問とご意見をいただきました。総会資料は、本校ウェブサイト[保護者ページ](#)の「総会・保護者説明会」をご覧ください。議事録も完成次第、同ページに掲載予定です。

今後の運営改善のため、今回の年次総会に関する[アンケート](#)を実施しております。ぜひ皆様のお考えをお聞かせください。欠席された方も、参加できなかった理由やご意見、ご要望を是非お聞かせください。今後の参考とさせていただきます。

引き続き生徒が充実した学校生活を送れるよう、各部が協力し、工夫を凝らしながら学校運営に取り組んでまいります。今期も保護者の皆様および教職員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

【報告】岡崎詩織さん講演会レポート（教育人事部）

10 月 11 日に、通訳・広報の分野で国際的に活躍されている岡崎詩織さんをお迎えし、講演会が開催されました。岡崎さんはシアトル生まれ、ホノルルと東京育ち。ワシントン DC を拠点に日米をつなぐ言葉の仕事に従事されています。これまでに米日カウンシルや在米・在英日本大使館の広報チームで勤務され、ダートマス大学で学士号、コロンビア大学の国際公共政策大学院とジャーナリズム大学院で修士号を取得されています。現在は Shiori Communications, LLC の代表として、政府間のハイレベルな通訳をはじめ、コミュニティペーパー「さくら新聞」でのコラム執筆や、ポッドキャスト「[CrossWorld Puzzles](#)」の配信、「[週刊ワシントン](#)」への出演など、活動の幅を広げられています。



講演では、ホノルルの補習校で学ばれた経験、日米両文化の中で育った子供時代の葛藤、そして通訳・広報の仕事に志すに至った経緯が語られました。特に印象的だったのは、いつも岡崎さんを深い愛情をこめて応援されてきたご両親のお話、ご自身を「頑固」と表現されるほど信念を曲げず貫く姿勢、また「すぐには役立たない学びや経験でも、いつか必ず役立つ時が来る」というメッセージでした。

講演会には保護者や生徒が参加し、質疑応答も活発に行われました。日本語学校の生徒たちは、日米の文化の懸け橋として、そして国際的な舞台で活躍する可能性を秘めています。岡崎さんの実体験に基づいたお話は、将来日本語と英語を活かして世界へ羽ばたきたいと考える生徒たちや、子供をサポートする保護者にとって、大きな励みとなる貴重な機会となったことと思います。

今回は時間的にご都合がつかなかった方のために、講演会資料を本校ウェブサイトの[保護者ページ](#)に掲載致しました。また、当日の動画を 12 月末まで[限定公開](#)いたしますので、ぜひご覧ください（本校の生徒のために岡崎さんのご厚意で公開していますので、リンクの取り扱いにはどうぞご注意ください）。この機会に岡崎さんのポッドキャスト「[CrossWorld Puzzles](#)」や「[週刊ワシントン](#)」ポッドキャストも、ぜひ聴いてみてください。

【特集】～運動会は人生そのもの～

管理運営委員会・総務部部長 大光麻紀子

今年の運動会を終えて、改めて思うのは「運動会は人生そのものだ」ということです。実はこの1か月、運営委員は天気予報とにらめっこしながら悩んできました。金曜日は晴天、日曜日にも青空。なのに、どうして肝心の土曜日だけは怪しい雲が居座るのか――まるで天気の神様に試されているかのようでした。雨がいつ・どの程度降るのか、その瀬戸際で何度も開催の是非を再考する日々。予測不能さに振り回される姿は、まさに人生そのものだと感じずにはいられませんでした。



それでも迎えた当日。曇空の下、ゲーターフィールドにご来賓、先生方、保護者、そして子供たちが集合しました。開会式が始まった瞬間、「やるしかない」という空気に切り替わるのだから不思議です。人生も同じで、条件がそろわなくても舞台に立てば腹をくくるしかないのです。競技が始まれば、勝つ子もいれば負ける子もいる。全力を尽くしたのに報われず、悔し涙を流す子がいる一方、まさかの勝利に驚きながら喜ぶ子もいます。努力が必ずしも結果につながらない。でもだからこそ、思わぬ幸運や失敗から多くを学べるのです。

中でも印象的だったのは「タイヤ取り」。合図と同時に泥だらけになりながら必死にタイヤへ手を伸ばす子供たち。最初に握ったからといって油断はできず、仲間と協力しなければゴールまで運べません。押し合いへし合いの中で踏ん張り、最後まであきらめない姿は、人生で大切なものを守ろうとする人間そのもの。見ている大人の方が息を飲み、思わず声を張り上げてしまいました。

また、競技の最中も子供たちはルールを守り、相手を茶化したりせず、互いを讃え合う姿勢を崩しませんでした。これこそがスポーツマンシップ。人生においても結果以上に「どう向き合うか」が大事であることを、子供たちが示してくれたのです。



もちろん、陰で支えた大人たちの奮闘も忘れてはなりません。校長・教頭先生や事務局の皆さんは、聖心SR校との交渉から天候リスクを想定した何度もの計画変更まで、本当に息つく暇もなく準備を続けてきました。当日は雨をにらみながらプログラムを短縮しつつも、保護者が会場整理に走り、機材を運び、雨に濡れながら片付けまでやり遂げてくださいました。まるで「人生における家族や地域の支え」をそのまま体現してくれていたようでした。

閉会式を迎えるころ、子供たちの顔には「やり切った」という達成感が浮かんでいました。勝ち負けを超えた大きな喜び。それはまさに人生で大きな挑戦をやり遂げた後に感じる充実感と同じです。翌日の日曜日にもこれ以上ない快晴だったことには、苦笑い。けれどもそれもまた人生。タイミングが噛み合わないからこそ、振り返れば笑い話になるのです。



今年の運動会は、学校行事を超えた「人生の縮図」でした。思い通りにいかない天候、仲間とともに挑んだ戦い、支え合いながら成し遂げた達成感。そのすべてが「人生は予測不能だからこそ尊い」という真理を映し出していました。子供たちにはこれからも、転んでも立ち上がり、負けても笑い、そして次の挑戦へと進んでほしいと心から願います。

2025 年度後期管理運営委員会のメンバー紹介



左：ジャコブソン（総務）

右：黒木（教育人事）

4 列目：ジョーンズ/シーブルック(学年代表),
横山(広報/PS)

3 列目：向山/デカストロ(教育人事), カリクレッテ
(総務), 竹内/渡部(広報/PS)

2 列目：中村（教育人事）, 青柳/大光/魚澤(総務),
生島(財務)

最前列：寺部(教育人事), 樋川事務局長, 東間校長,
栗原(委員長), 大久保(副委員長), 安東(財務)

新委員のご紹介

9 月より、教育人事部に加わりました、デカストロさやかと申します。昨年夏にベセスダに転居してきました。日本語学校では、中3、中1、小2の3人の子供たちがお世話になっています。3人とも、週に1日ですが、お友達と日本語で思いっきりおしゃべりできるのを楽しみに通っています。多様な子供たちが共に学ぶ日本語学校で、皆が笑顔で学べる環境づくりを、陰ながらですが、支えることができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長からの報告

皆様、だんだん秋らしい気候になってきました。聖心 SR 校のキャンパスには、どんぐりがたくさん落ちているところがあり、短い距離ですが、毎週秋を感じながら歩いています。

9 月の最終週に無事運動会が終わりました。新しい会場に加え、お天気の心配が尽きない一日ではありましたが、保護者をはじめとする関係者の皆様のご協力が無事一日を終えることができました。ありがとうございました。運動会は、年に一度、本校全ての生徒とその家族が一堂に会する場です。生徒たちが他学年の生徒たちと係活動や応援団を頑張っている中、保護者の皆様はお子様の活躍を見守りながら他の保護者の方と交流を深める、そんな一日であったことを願っております。

10 月最初の土曜日には定例運営委員会、そして、先週の土曜日には総会が開催されました。本校在籍家庭の 6 割近い皆様から、事前の委任状提出および総会へのご出席をいただきました。皆様のおかげで総会は無事成立し、新しい監査人および、後期の管理運営委員を承認いただきました。皆様のご協力に改めて御礼申し上げます。総会では、校長先生から本校の教育方針についてのご説明、また運営委員会各部、各小委員会、事務局からの事業報告・今後の予定についての報告が行われました。本校ウェブサイトから資料を閲覧することができますので、当日ご欠席だった皆様にはぜひ資料へ目を通していただき、日本語学校運営について理解を深めていただくことができれば幸いです。

引き続き、保護者の皆様からのワシントン日本語学校および管理運営委員会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>





委員長： 栗原美恵
副委員長： 大久保智夫
総務部： 大光麻紀子（部長）・青柳陽介・魚澤智子・カリクレッテ郁子・ジャコブソン彩子
財務部： 安東宇（部長）・生島奈美
教育人事部： 向山こずえ（部長）・黒木友里・寺部正記・デカストロさやか・中村公紀
広報・PS部*： 竹内由美（部長）・横山優子・渡部智彦
学年代表： ジョーンズ紀子（低・中学年代表）・シーブルック留実（高学年代表）

* 広報・パートナーシップ部の略

